

練馬病院 490 床への増床について

練馬病院 事務部長
井田 豊太郎



490床へ増床した1号館(左)と外来棟・3号館(右)

練馬病院は 2021 年 4 月に増床が完了し、新たに 490 床でスタートを切りました。

従来の練馬病院は、病床 400 床を 95% 超の病床稼働率で運用しており、地域の基幹病院として、当院の増床は練馬区、そして周辺の医療機関から強く要請されていました。

今回の再編事業のポイントは、以下の通りです。① 3 号館を新設し、1 号館の外来診察室、医局、化学療法室などを移設の上、拡張しました。2019 年 12 月～2020 年 1 月の年末年始 6 日間で 3 号館に外来機能を移設、1 月 4 日より通常の外来診療を開始しました。

続けて② 1 号館を改修および病床 90 床の増設工事に着手した頃、COVID-19 の流行が始まりました。COVID-19 陽性患者の受入・治療と、大規模改修工事は、非常に難易度の高い課題でしたが、診療機能を維持しながら工事を進めることができました。

2021 年 4 月 1 日には 90 床増床となった 1 号館の③救急外来の拡張、感染対応陰圧室の増設、手術室の増室、「小児周産期センター」として NICU/GCU、カイザー手術室、無菌病室の新設、新生児科・心臓血管外科・歯科の新設、という大規模な改修が終わり、診療機能が大幅に拡充できました。

今後は MRI の更新、心臓血管外科手術・ハイブリット手術室の新設等が残っていますが、第 2 の開院を迎えた練馬病院として、滞りなく完成を迎えるべく病院スタッフ一丸となり邁進してまいります。



1号館4階小児周産期センター(NICU/GCUベッド周り)